

県内ダムの貯水状況等について

— より一層の節水にご協力をお願いいたします —

記者発表資料
令和7年8月6日
農政部・土木部・企業局
担当：河川課 宮腰・佐々木
電話：022-211-3182

1 降雨状況とダムの貯水状況

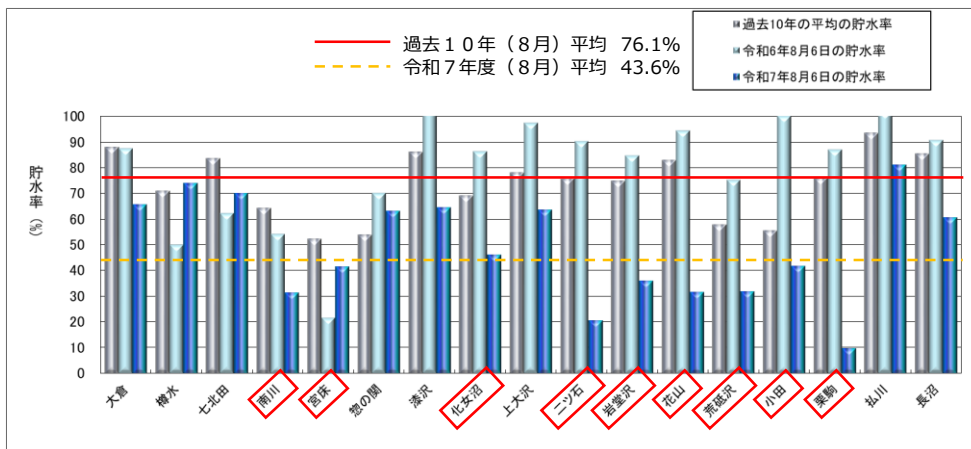
- 6月～7月の県内ダム流域平均降水量：93mm
(過去10年平均(350mm)に対し、約26%)
- 8月6日(7時現在)の県管理17ダム平均貯水率：43.6%
(過去10年平均(76.1%)に対し、大きく下回る)
- 全ての県管理ダムで貯水率は下降傾向であり、9ダムで半分以下。
- 特に、栗駒ダムでは、貯水率が著しく低くなっている。

ダム名	栗駒	ニツ石	南川	花山	荒砥沢	岩堂沢	宮床	小田	化女沼
貯水率%	9.6	20.5	31.3	31.5	31.9	36.0	41.5	41.6	46.1

- 国管理ダムでは、7月29日3時に鳴子ダムで貯水率0%となった。
※ 鳴子(0%)、釜房(69.0%)、七ヶ宿(70.3%)

【貯水グラフ】

過去10年間の平均貯水率と令和6年及び令和7年の8月6日貯水率比較



2 渇水に対する対応

◆農業用水について【農政部】

- ・ 県内47土地改良区のうち、20管内にて、番水を実施中であり、番水面積は、約23,300haで、県内水田面積の約23%。
(8月4日現在)
- ・ 7月28日に農業用水対策相談窓口を設置。

◆水道用水について【企業局】

- ・ 8月5日に、大崎広域水道事務所から送水する10市町村に対して、節水への協力を呼びかけ。(大崎市、栗原市、富谷市、松島町、大和町、大郷町、大衡村、加美町、涌谷町、美里町)
- ・ 南川ダムを水源とする大堰組合と水道用水確保について調整中。
- ・ 今後も降雨が見込めない場合を想定し、中峰浄水場からの送水量の減量と、漆沢ダムの活用を検討。

◆ダムについて【土木部】

- ・ 引き続き、利水者との緊密な調整により、放流量の丁寧な運用を行い、貯水量の効率的な活用を図る。

3 県民の皆様へのお願い

- ◆ 今後まとまった降雨がない場合、取水制限となる可能性もあることから、県民の皆様におかれましては、より一層の節水にご協力をお願いいたします



宮城県各管理ダム貯水状況について
(宮城県ホームページ)